

---

# しゅごキャラ！登場、ダークガーディアン！！

ユーリ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

しゅごキャラ！登場、ダークガーディアン！！

### 【Nコード】

N5927K

### 【作者名】

ユーリ

### 【あらすじ】

『しゅごキャラ！3人娘のトライアングルハート！！』の続編小説。失敗続きのルルに業を煮やした専務が、新たな刺客・ダークガーディアンを送り込んだ！日奈森亜夢はダークガーディアンに誘拐され、何と洗脳されてしまう・・・歌唄達と共に亜夢を助けに向かったルルに、新たな力が目覚めた！！

## （前書き）

この小説は、『しゅごキャラ！3人娘のトライアングルハート！！』の続編小説です。

なぎひこのしゅごキャラがまだ生まれていない設定です。

## キャラクター紹介

日奈森亜夢<sup>ヒナモリアム</sup>：この物語の主人公で、聖夜小学校のガーディアンでジョーカーをしている女の子。表向きはクール&スパイシーキャラだが実は意地っ張りキャラ。しゅごキャラはラン、ミキ、スウ、ダイヤの4人。

星名歌唄<sup>ホシナウタウ</sup>：かつてイースター社に所属していた、14歳のアイドル。亜夢とは親友同士。しゅごキャラはイルとエルの2人。

ルル・ド・モルセル：今作のもう1人の主人公で、アニメオリジナルキャラクター。イースター第3の刺客だが、私利私欲ではないらしい。名古屋人とフランス人のハーフで、時々名古屋弁で話すが普段は標準語。しゅごキャラはナナ。

辺里唯世<sup>ホトリタタセ</sup>：聖夜小学校ガーディアンキングスチエアをしている少年で、亜夢の憧れ。『王子』という言葉を聞くと王様キャラにキャラチェンジしてしまう。しゅごキャラはキセキ。

藤咲なぎひこ<sup>フシサキ</sup>：聖夜小学校ガーディアンジャックスチエアをしている少年。実はかつてのクイーンズチエア、なでしこと同一人物で、女形舞踊の勉強のために女装をしていたが亜夢には内緒にしている。しゅごキャラはてまりとリズムの2人がいるが、この物語ではリズムが先に孵化してまりは一時的にしゅごたまに戻っている。

真城りま<sup>マシロ</sup>：聖夜小学校ガーディアンクイーンズチエアをしている

少女。見かけはクールだが、実はお笑い好き。今回の物語でなぎひこの正体を感じる。しゅごキャラはクスクス。

結木<sup>ユイキ</sup>やや：聖夜小学校ガーディアンのエースチェアをしている少女で、一番年下。普段は赤ちゃんキャラだが、頑張っている一面も。

しゅごキャラはぺぺ。

鬼怒川<sup>キヌガワ</sup>菜夢<sup>ライム</sup>：ガーディアンに敵対するダークガーディアンリーダー、ダークジョーカーをしている少女。亜夢に髪型が似ている。しゅごキャラはゼアスとミヤ。

獅童<sup>シドウ</sup>時臣<sup>トキオミ</sup>：ダークガーディアンのダークキングスチェアをしている少年。しゅごキャラはライ。

獄猿<sup>ゴクエン</sup>静海<sup>セイカイ</sup>：ダークガーディアンのダークジャックスチェアをしている少年。土佐弁で話す。しゅごキャラはドロワ。

烏条<sup>ウシヨウ</sup>音譜<sup>オンブ</sup>：ダークガーディアンのダーククイーンズチェアをしている少女。しゅごキャラはティンク。

兎帳<sup>トバリ</sup>閨夜<sup>ネヤ</sup>：ダークガーディアンのダークエースチェアをしている少女。しゅごキャラはヴィス。

イル&エル：歌唄のしゅごキャラ。よくケンカするが実は仲良し。歌唄とのキャラなりはイルがルナティックチャームで、エルがセラフィックチャーム。

ナナ：ルルのしゅごキャラ。ルルよりも名古屋弁で話す事が多い。今回初めてルルとキャラなりする。ルルとのキャラなりはドロシアレインボー。

キセキ：唯世のしゅごキャラ。生意気な王子様キャラ。唯世とのキャラなりはプラチナロワイヤル。

てまり&リズム：なぎひこのしゅごキャラ。てまりは今はタマゴに戻っている。なぎひこのキャラなりはてまりが不明で、リズムがビートジャンパー。

クスクス：りまのしゅごキャラ。りまと同じくお笑いが好き。りまとのキャラなりはクラウンドロップ。

ぺぺ：やあのしゅごキャラ。実はややよりしっかり者。ややとのキャラなりはしゅごキャラ。実はややよりしっかり者。ややとのキャラなりはしゅごキャラ。

ヤラなりはディアベイビー。

闇キャラ：しゅごキャラが持ち主の悪意ある心が強くなって生まれた存在。故にしゅごキャラより能力は格上。持ち主とダークキャラなりできる他、持ち主以外ともできる様子。

ミヤ&ゼアス：葉夢のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。現在はミヤのみ持ち主ではない亜夢とキャラなりしている。亜夢とのダークキャラなりはアミュレットダークネス。

ライ：時臣のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。時臣とのダークキャラなりは不明。

ドロワ：静海のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。静海とは違い、普段は標準語。静海とのダークキャラなりはイフリートダンサー。

ヴィス：閨夜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。閨夜とのキャラなりはブラッディローズ。

ティンク：音譜のしゅごキャラで、かつ闇キャラ。音譜とのダークキャラなりはジャミングパルサー。

ルル・ド・モルセルは、ため息をついていた。

何度も失敗しているため、先程専務から呼び出しを受けていたからである。

ルル・ド・モルセル

「ハア・・・また専務に怒られてしまった・・・」

ルルは考え込んでいる。

ルル

「（エンブリオを手に入れるには、日奈森亜夢を倒さなければなら  
ない・・・でも、私にできるのかしら・・・）」

「悩んでいるようだな。」

ルル

「！？誰？」

ルルが振り向くと、そこには5人の男女が立っていた。

「オレ達は専務が最近雇った選抜チーム、ダークガーディアンズだ。」

「

「あなたの手助けをしてあげるわ。」

ルル

「私の手助けを？」

「そうぜよ。」

「君は日奈森亜夢をカフェに呼び出してくれれば良いから。」

ルル

「亜夢を呼び出せば良いのね？」

「ああ、そうだ。」

ルル

「わかったわ。」

ルルは去って行った。

5人が不敵な笑みを浮かべている事にも気づかずに・・・

聖夜小学校

日奈森亜夢

「フウ、終わった終わった！さて、今日は帰ったら何しようかなあ。」

授業を終えた亜夢は、帰宅しようとしていた。

亜夢

「♪ あれ？ルル？」

亜夢が校門に差し掛かると、そこにはルルが立っていた。

ルル

「久しぶりね、亜夢。」

亜夢

「ルル、どうしたの？わざわざ学校まで来て。」

ルル

「ちょっと話がしたくて。知ってるカフェがデパートにあるんだけど、行かない？」

亜夢

「うん、行く行く！ラン達は先に帰ってて！」

ラン

「はい。」

亜夢

「じゃ、行こっか？」

ルル

「ええ・・・」

亜夢とルルは、デパートへと向かった。

デパート屋上

亜夢とルルは、デパートの屋上にある憩いの場にいた。  
カフェで買って来た飲物を持って。

ちなみに亜夢とルル以外には誰もいない。

亜夢

「おいし〜！やっぱり評判なだけあるね、この飲物！」

ルル

「そうね・・・亜夢、学校は楽しいの？」

亜夢

「そうだね、楽しいよ。ガーディアン的小伙伴们とも会えるし。」

ルル

「そう・・・」

ルルは少し俯いている。

亜夢

「どうしたの、ルル？具合でも悪いの？」

ルル

「イヤ、そんなんじゃ・・・」

ルルが何かを言いかけたと同時に、男の子の声が聞こえてきた。

「こんにちは、お嬢さん方。」

亜夢

「？」

亜夢が振り向くと、そこには唯世によく似た男の子が立っていた。

亜夢

「あなた、誰？」

シドウ トキオミ  
獅童時臣

「お初にお目にかかります。ボクは獅童時臣と申す者、以後お見知り置きを。」

亜夢

「初めまして、日奈森亜夢です。」

時臣

「噂は聞いてるよ。君が聖夜小ガーディアンのジョーカー、日奈森亜夢さんだね？」

亜夢

「はい、そうですけど・・・」

時臣

「少しあなたに用があるんですよ。ボクと一緒に来ていただけますか？」

亜夢

「獅童さん？良いですね・・・」

『良いですけど』と言いかけた亜夢を、ルルが制止した。

ルル

「・・・ダメ・・・」

亜夢

「え？ルル？」

ルル

「逃げて、亜夢！！」

亜夢

「え？どういう事！？」

時臣

「チツ、面倒な女だ！閨夜、音譜！やれ！！」

時臣の声で、2人の女がルルの両脇に現れた。

ザッ！

ルル

「！！！」

閨夜・音譜と呼ばれた2人の女は、テノヒラ掌にはめた機械から電撃を放った。

バチィッ!!

ルル

「キャアアア!!」

バリバリバリバリ!!

亜夢

「ル、ルル!!」

ルル

「亜夢、早く逃げて!!」

亜夢

「う、うん!!」

亜夢は走って扉に向かおうとする。

時臣

「甘いな。」

しかし、亜夢が扉に着きかけたその時、彼女の前に別の男が立ち塞がった。

ザッ!

亜夢

「!!」

「ここは通さんぜよ。」

そう言うと、男は素早く亜夢の背後に回り込み、彼女を羽交い締めにした。

ガシッ!

亜夢

「きゃッ!は、離してよ!!」

亜夢はジタバタともがく。

亜夢を羽交い締めにした男は、彼女の口をハンカチで塞いだ。

ガバッ!!

亜夢

「うっ!!うっ、うっ!!」

亜夢はジタバタともがく。

しかし、ハンカチに染み込んだ薬のせいで徐々に目がトロンとしてきた。

亜夢

「うっ・・・」

亜夢は気を失い、倒れ込んだ。

ドサッ！

ルル

「あ・・・亜夢・・・」

その言葉を最後に、ルルも気を失ってしまった。

ドサッ！

「チヨロいもんぜよ。」

時臣

「助かったよ、静海。」

「で、どうする時臣？この裏切り者。」

時臣

「地下室にでも放り込んでおけ、閨夜。」

「わかったわ。」

時臣

「じゃあ、日奈森亜夢を連れて行くぞ。」

「ええ。」

時臣達3人は亜夢を、閨夜はルルを連れて去って行く。

その光景を、ルルのしゅごキャラであるナナが隠れて見ていた。

ナナ

「た・・・大変だぎゃあ・・・」

聖夜小学校・ロイヤルガーデン

ガーディアンキングスチエアである辺里唯世は、ジャックスチエアの藤咲なぎひと一緒にいた。

遅くまでロイヤルガーデンを掃除していたからだ。

藤咲なぎひこ

「辺里君、こっちは終わったよ。」

辺里唯世

「ご苦労様、藤咲君。じゃあ、帰ろうか・・・」

2人が帰ろうとした時、ナナがロイヤルガーデンに入ってきた。

ビュン！

唯世

「君は？」

ナナ

「私はルルのしゅごキャラ、ナナだぎゃ！助けて欲しいの！！」

唯世

「助けて欲しいって、どういう事？」

数10分後、亜夢を除くガーディアンメンバーがロイヤルガーデンに集まった。

知らせを聞いてやって来た、星名歌唄もいる。

星名歌唄

「話はわかったわ。つまりあなたの持ち主ルルド・モルセールは、イースターが送り込んだ刺客だったワケね。」

ナナ

「そうだぎゃ・・・でも、ルルだって私利私欲でエンブリオを狙ってるワケじゃなか！ルルは、母親のために・・・」

真城りま

「その話は後よ。今はとにかく、亜夢とあなたの持ち主を探し出さないと。」

なぎひこ

「そうだね。そうは言っても、手掛かりが・・・」

イル

「心配いらねえよ！アタシ達しゅごキャラは持ち主の気配を感じ取れる！亜夢が行ったっていうデパートを探せば、ナナの持ち主の方は見つかるさ！」

唯世

「よし、みんなで探しに行こう!」

ナナ

「恩に切るわ・・・」

唯世達は、亜夢とルルが行ったデパートへと向かった。

その頃・・・

亜夢

「ん・・・」

亜夢は1人、薄暗い部屋にいた。

やがて目が覚める。

亜夢

「!!!ん、んっ・・・」

亜夢は起き上がろうとしたところで、自分の手足がロープで縛られている事に気がついた。

口にはガムテープが貼られている。

亜夢

「んゝ、んゝ!!」

亜夢はジタバタともがいたが、ロープはビクともしなかった。

亜夢

「うう・・・（ここはどこなの？アタシ、一体・・・）」

亜夢は考え込んでいる。

すると、部屋に光が差し込んだ。

扉が開けられたからだ。

亜夢

「うっ・・・」

亜夢は眩しさのあまり目を瞑る。

すると、5人の男女が部屋の中に入って来た。

どうやら亜夢は、マンションの部屋の一室にいるらしい。

時臣

「気分はどうだい？日奈森亜夢君。」

時臣は亜夢を起き上がらせると、亜夢の口に貼られたガムテープをはがした。

ピリリ・・・

亜夢

「イタツ・・・あなた達、一体何のつもりでアタシをさらったの？  
言っておくけど、アタシの家そんなにお金はないよ?」

時臣

「ハハハ！お金は目的じゃないさ。言っただろ？君自身に用があるつて。」

亜夢

「アタシ自身?」

亜夢はそこで、5人それぞれの隣にしゅごキャラがいる事に気がついた。

亜夢

「あ、あなた達もキャラ持ちなの!?」

時臣

「その通りだよ、日奈森亜夢君。ただし、ただのしゅごキャラではないがね。」

亜夢

「ど、どういう事!?」

時臣

「先にボク達の事を紹介しておこうか。ボク達はね、イースターが秘密裏に組織したガーディアンに対抗するためのメンバー・・・言わば、ダークガーディアンなのさ。」

亜夢

「ダ、ダークガーディアン!?」

時臣

「その通り。まず赤髪の彼が、獄猿静海。」

ゴクエン セイカイ  
獄猿静海

「オレは獄猿静海。ダークガーディアンでダークジャックスチエアをやっている者ぜよ。コイツはオレのしゅごキャラ、ドロワ。」

ウシヨウ オンフ  
烏条音譜

「アタシはダーククイーンズチエアの烏条音譜。この子はしゅごキアラのティンク。」

トバリ ネヤ  
兎帳閨夜

「アチシはダークエースチエアの兎帳閨夜。それとしゅごキャラのヴィス。」

時臣

「ボクはダークキングスチエアの獅童時臣。しゅごキャラはライだ。そして、ボウシをかぶった彼女が・・・」

ボウシをかぶっていた少女は、ボウシを取り去る。

パサッ!

亜夢

「ア、アタシにソックリ!!」

キヌガワ ライム  
鬼怒川莱夢

「アタシはダークジョーカーの鬼怒川菜夢。しゅごキャラはゼアスとミヤ。」

時臣

「ボク達のしゅごキャラは、ボク達の悪意の心が強くなって生まれただ。言わば、闇キャラ。」

亜夢

「闇キャラ・・・」

閨夜

「つまりアチシらのしゅごキャラは、あなた達のしゅごキャラより数段格上ってワケ。」

亜夢

「で、アタシに何の用なの？」

菜夢

「専務は前々から、エンブリオ出現について仮説を立ててた。その仮説の1つが、×タマが大量に出現した時にエンブリオが現れるというもの。」

音譜

「だから専務はルルを雇い、？タマを生み出させたの。エンブリオを探すために。」

亜夢

「ルルがイースターの刺客だったなんて・・・」

静海

「これが現実ぜよ。」

時臣

「そして失敗続きのルルに業を煮やした専務は、ボク達に直々に指令を与えたのさ。ガーディアンของ ジョーカーである日奈森亜夢君・君を誘拐し、仲間に入れろとね。」

亜夢

「悪いけど、お断りよ！あなた達みたいな悪いヤツらの仲間なんかに、アタシはならない！！」

時臣

「口では何とでも言える。それなら、強制的にやるまでだ。」

亜夢

「な、何をする気！？」

時臣

「ライ、ゼアス、ヴィス、ドロワ、ティンク！この娘に電撃を浴びせろ。」

時臣の指示で、時臣達のしゅごキャラが5方向から一斉に亜夢めがけ電撃を放った。

バリバリバリバリ！！

亜夢

「キヤアアアア！！」

菜夢

「今よ、ミヤ。」

ミヤは亜夢に近づき、額に手を当てた。

スッ！

亜夢

「うつー!!」

ミヤ

「楽になりなさい……」

ミヤの手から光が出る。

亜夢

「キヤアアアア……!!」

しばらくして、亜夢は口を開いた。

亜夢

「アタシはあなたの僕です、莱夢様。何なりとご命令を……」

亜夢は洗脳された。

時臣

「よくやった、莱夢。」

ミヤは亜夢に近づく。

ミヤ

「アタシがあなたのしゅごキャラよ。」

亜夢

「よろしく、ミヤ・・・」

亜夢はミヤと手をつなぐ。

その光景を、5人は不敵な笑みで見つめていた。

同じ頃、唯世達はルルを見つけ出し、救出していた。

ルル

「ゴメンナサイ、アタシのせいで亜夢が・・・」

歌唄

「謝るのは後よ。とにかく亜夢を助け出さないと。」

歌唄がそう言った時、彼女の携帯電話が鳴った。

ピピピ・・・

歌唄

「メールだわ！亜夢からみたいけど・・・文面が彼女のものじゃない。」

なぎひこ

「多分、亜夢ちゃんから奪った携帯からメールしたんだろうね・・・」

」

唯世

「歌唄ちゃん、読んでみて。」

歌唄

「ええ。」

歌唄はメールを読む。

『日奈森亜夢嬢は預かった。返して欲しければ、月夜遊園地に来い。』

歌唄

「メールに書かれてる遊園地って、最近できた遊園地よね？」

なぎひこ

「うん、確かイースター社が監修したっていう・・・イースター社！？」

りま

「なるほど、自分のテリトリーに私達を誘い出そうって事ね。」

歌唄

「それを逆手に取るのよ。待ってて亜夢！必ず助けてあげるから！」

歌唄達はメールに書かれた地図を頼りに、月夜遊園地へと向かった。

月夜遊園地

りま

「着いたわ！」

結木<sup>ユイキ</sup>やや

「ここにあむちーがいるんだね！それにしても誰もいないね。」

なぎひこ

「恐らく、今日は貸切状態なんだろう。ボク達を誘い出すためにね。」

唯世

「じゃあ、2人ずつに分かれて行こう！」

ジャンケンの結果、唯世&やや・なぎひこ&りま・歌唄&ルルの3組になった。

唯世

「じゃあ、行こう！」

唯世達は3組に分かれ、別々の方向に走って行く。

それを見ていた静海達3人も、行動を開始した。

なぎひこ&りま組

りま

「ジャンケンで決めたとはいえ、あなたとペアになるなんてね。」

りまは少し不機嫌である。

なぎひこ

「そんなに邪険にしくても良いじゃないか。」

りま

「私、こないだ教室で偶然見たのよ。あなたが髪をポニーテールに  
してるところをね。」

なぎひこ

「えっ・・・。」

思いがけないりまの一言に、なぎひこは真っ青になった。

りま

「それにあの時女言葉で呟いてたし・・・あなた、もしかして・・・」

なぎひこ

「参ったなあ・・・。！シート・・・。」

なぎひこは人差し指を口元に当てて、再び口を開く。

なぎひこ

「もう少しだけ、みんなには内緒にしてて？」

なぎひこの片手には、ピンクとブルーのしゅごたまがあった。

りま

「・・・」

りまは黙っている。

なぎひこ

「・・・!？」

りま

「どうしたの？」

なぎひこ

「誰がいる！」

「気配だけで気づいたか。さすがはガーディアンの一員ぜよ。」

なぎひこが振り向いた先には、静海が立っていた。

なぎひこ

「君は誰だ？」

静海

「オレはダークガーディアンの人・・・獄猿静海ぜよ。」

りま

「ダークガーディアンって何なの？」

静海

「オマエ達ガーディアンに敵対するグループぜよ。ドロワ！」

ドロワ

「サッサと叩き潰すぞ。」

静海

「オレの心、アンロック・・・ダークキャラなり・イフリートダンサー！！」

静海は炎をまとったダンサーのような姿になった。

りま

「ダークキャラなり！？」

なぎひこ

「よくわからないけど、何だか禍々しいね・・・」

りま

「キャラなりできないなぎひこは下がってて！私の心、アンロック！キャラなり・クラウンドロップ！！」

りまはクラウンドロップにキャラなりした。

静海

「ダンサーにピエロか、笑えるぜよ。行くぜよ！スパイラルファイヤー！！」

静海は高速回転し、炎の弾を乱射してきた。

ボボボボボ！！

りま

「ジャグリング・パーティー！！」

りまは大量のクラブを投げ、攻撃を相殺する。

ボシュ、ボシュ！

静海

「なかなかやるぜよ。では、これはどうぜよ？フレイムウォール！！」

静海は右足を地面に叩きつけ、走る火柱を放ってきた。

ゴオオオオオ！！

りま

「ジャグリング・シールド！！」

りまは大量のクラブを高速回転させ、盾にする。

ガガガガ！！

静海

「防御方法は悪くないきに。だが悲しきかな・・・オレの炎の前には力不足ぜよ！！」

火柱はりまのクラブを破壊した。

バキン！！

りま

「！！」

りまは火柱に吹っ飛ばされる。

ゴオオ！！

りま

「キャアア！！」

飛んでいくりまを、なぎひこが受け止めた。

ガバツ！

りま

「なぎひこ！」

なぎひこ

「ちょっとボクに任せてくれる？ボク、ダンスは割と得意なんだ。」

静海

「選手交代か、オレは別に構わんぜよ。フレーザーダンス！！」

静海は回転する炎をまとい、なぎひこに向かって来た。

ゴオオオオオ！！

なぎひこ

「ハッ、よっ！」

ヒヨイツ！

なぎひこは軽快に、静海の突進をかわしていく。

静海

「チイツ、チヨコマカと・・・ならばこれじゃき！ツインフレイム  
ウォール！！」

ゴオオオオオ！！

その時、青いしゅごたまが動き出した。

コトコト・・・

『なぎひこ！確かに届いたぜ、オマエの鼓動<sup>リズム</sup>！！』

なぎひこ

「えっ？」

ポンッ！

青いしゅごたまから、リズムが孵化した。

なぎひこ

「2人目のしゅごキャラ！」

リズム

「オレはリズム！さあ・・・」

なぎひこ

「ボクの心、アンロック！キャラなり・ビートジャンパー！！」

なぎひこはリズムとキャラなりし、リズムを人間化した姿になった。

なぎひこ

「アイシクル・シュート！！」

なぎひこは冷気をまとったボールを投げた。

ブンッ！

火柱が凍っていく。

ビキビキビキビキ！

なぎひこ

「続いて、ブレイズ・シュート！！」

なぎひこは続いて炎をまとったボールを投げ、凍った火柱を破壊した。

ブンッ！

バキヤア！！

静海

「余興はここまでぜよ。」

静海は飛んで行く。

なぎひこ

「追うよ、りまちゃん!」

りま

「ええ!」

なぎひことりまは静海を追って行った。

唯世&やや組

唯世とやははプラチナロワイヤルとディアベイビーにキャラなりし、  
ヴィスとダークキャラなりしてブラッディローズになった兎帳閨夜  
と戦っていた。

閨夜

「リーフカッター!!」

ヒュンヒュン・・・

唯世

「ホーリークラウン!!」

ボンッ！

閨夜の攻撃を唯世が防ぎ、ややが隙を見て反撃する。

やや

「アヒルちゃんダッシュー！」

ゴォッ！

閨夜

「ローズウィップー！」

バチン！

ややが飛ばしてきたアヒル達を、閨夜のムチが弾き飛ばした。

閨夜

「アンタ達もしつこいね。」

閨夜がそう言ったその時、彼女の携帯が鳴った。

ピリリ！

閨夜

「はい、閨夜！うん、わかった。」

ピッ！

閨夜

「アチシらのリーダーから連絡が来たわ。アンタ達を連れて来いっ

てさ。アチシについて来な！」

閨夜はそう言つと、走って行く。

唯世とややは首を傾げつつも、後を追つた。

## 歌唄&ルル組

歌唄はセラフィックチャームにキャラなりし、ティンクとダークキ  
ヤラなりしてジャミングパルサーとなつた音譜と戦っていた。

## 歌唄

「ホワイトウイング!!」

ブアッ!

ドガガガガ!!

## 音譜

「クッ!」

## 歌唄

「エンジェルストーム!!」

歌唄は羽根を竜巻に巻き込んで放つ。

ゴオオオオオ！！

音譜

「ジャミングクレイドル！！」

ブアッ！

音譜は怪音波で羽根を吹っ飛ばした。

歌唄

「強い・・・」

音譜

「アタシを甘く見ないでよね。ブラック・・・」

音譜が続けて攻撃しようとした時、時臣が現れた。

ザッ！

音譜

「時臣？何よ、今良いトコなのに。」

時臣

「余興は終わりだ。サッサと戻って来い。」

音譜

「わかったわよ・・・」

音譜は時臣について行く。

歌唄

「待ちなさい！追うわよ、ルル！」

ルル

「え、ええ・・・」

歌唄とルルは2人の後を追った。

歌唄とルルが時臣と音譜を追ってやって来たのは、巨大なお城の前だった。

唯世達もいる。

歌唄

「あ、みんな！」

やや

「なぎー！なぎーもキャラなりできるようになったんだね！」

りま

「みんな、遭遇した敵を追って来たの？」

歌唄

「ええ・・・」

その時、ライトが灯って4人の男女が現れた。

パァッ！

静海

「改めて自己紹介するぜよ。オレはダークガーディアンのダークジヤックスチエア、獄猿静海ぜよ！！」

閨夜

「アチシはダークエースチエア、兎帳閨夜！！」

音譜

「アタシはダーククイーンズチエア、烏条音譜！！」

時臣

「そしてボクが副リーダーでもあるダークキングスチエア、獅童時臣だ。」

歌唄達は身構える。

時臣

「じゃあボク達のリーダーと、新しい仲間も紹介しておこう。」

城の扉が開くと、帽子をかぶった少女と黒いローブに身を包んだ人物がやって来た。

ボウシの少女はボウシを取り去る。

パッ！

歌唄

「亜夢にソックリ・・・」

菜夢

「アタシはダークガーディアンリーダー、鬼怒川菜夢。そしてこの子が・・・」

黒いローブに身を包んだ人物は、ローブを取り去った。

バサアッ！

歌唄・ルル・唯世・やや・なぎひこ・りま

「！！！」

歌唄達はその人物に驚愕する。

なぜならその人物こそ、誘拐された日奈森亜夢だったからだ。

亜夢の瞳はグレーになっている。

菜夢

「アタシと同じくダークジョーカーで、新しい仲間・・・日奈森亜夢よ。どう、驚いた？」

りま

「ど、どうして亜夢が・・・」

時臣

「ボク達はエンブリオを手にするべく、専務から彼女をさらえと命を受けたんだ。彼女の力を使えば、×タマを集めやすいからね。」

なぎひこ

「そんな事のために亜夢ちゃんを・・・」

歌唄

「許さない！みんな、アイツら5人を倒して亜夢を助け出すわよ！  
」

莱夢

「させるか。ミヤ！」

ミヤ

「はいはい。」

ミヤは亜夢に近づく。

亜夢

「アタシの心、アンロック・・・ダークキャラなり・アミュレット  
ダークネス・・・」

亜夢はミヤとダークキャラなりし、黒いドレスを身にまとった姿になった。

胸元のハンプティ・ロックも紫色になっている。

唯世

「ア、アミュレットダークネス・・・！？」

なぎひこ

「何て不気味なんだ・・・」

亜夢

「ダークスターシャワー。」

亜夢は手から雷の雨を降らせる。

バリバリバリバリ!!

やや・りま

「キャアアア!!」

なぎひこ

「うわあああ!!」

やや・りま・なぎひこがあっという間にやられた。

亜夢

「ブラッディロッド・・・」

亜夢は赤と黒に塗られたロッドを手にし、唯世に向かって来た。

ドンッ!!

唯世

「ホーリークラウン!!」

ブアッ!

唯世はホーリークラウンで攻撃を防ごうとしたが、すぐにヒビが入り始める。

ドゴオ！！

唯世

「うわぁ！！！」

歌唄

「唯世！！！」

亜夢

「次はオマエの番だ・・・」

亜夢は歌唄に向かって行く。

歌唄

「ホワイトウイング！！！」

歌唄は羽根を無数に放った。

ブアッ！

亜夢

「ジャミングミュージック。」

しかし、亜夢の攻撃の前に消し去られてしまう。

バシユッ！

歌唄

「そんな・・・」

亜夢

「終わりだ・・・」

亜夢は徐々に、歌唄に近づいて行く。

ザッザッ・・・

ルル

「（アタシのせいだ・・・アタシのせいで亜夢が・・・助きたい・・・亜夢を！！）」

ルルは心の奥底から、亜夢を助けたいと願った。

その時だった。

ナナが突然光り出したのは。

パアアアア・・・

菜夢

「何？」

ルル

「ナナが、輝いてる・・・」

ナナ

「ルル、届いたでアンタの気持ち！助けるで！日奈森亜夢を！！」

ルル

「う、うん！！アタシの心、アンロック！！」

ルルの体が、光り出す。

パアアアア！！

ルル

「キャラなり！！ドロシアレインボー！！！！」

ルルはナナとキャラなりし、マジシャンのような姿になった。

亜夢を助けたいというルルの想いが、彼女に新たな力を与えた！

果たして、ルル達は亜夢を助け出す事ができるのか！？

続く！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5927k/>

---

しゅごキャラ！登場、ダークガーディアン！！

2010年10月15日21時11分発行